みんなの文芸

俳句・短歌を募集
3日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。**1人1句、1首**に限ります。

俳句 根岸茉莉 選　投稿数 14 句

河童忌や暗澹として食細し　皆野中　太幡　琉美花

(評)七月二十四日は芥川龍之介の忌日。「杜子春」「鼻」「羅生門」など優れた作品を多く残して三十五歳の生涯に自ら終止符を打ちました。晩年の名作から「河童忌」と言われます。作者は中学三年、多感な思春期。進学、将来への不安や迷いに気も重く、食事も進まない。でも誰でも多少はそんな時期があり、悩みながら活路を見出し、大人になっていくのです。季語が適切です。二句目、八月六日平和記念式典が催されます。核兵器禁止は叶うのか？犠牲者のことを思うと虚しくて、原爆ドームの骨組みを見つめる作者。平和への強い思いを世界中が共有して欲しいですね。三句目、今は旅行も出来ないが、近くの山を眺めながらゆったり湯に浸かれば気分爽快。湯気の向こうの万緑が眩しい。作者は、一刻の旅気分を味わっています。

広島忌ドームを抜ける虚無の風　三沢　新井　民子
万緑や山借景に湯に浸かり　下日野沢　小原　和夫
古代よりロマン煌めく天の川　皆野　萩原　初恵
強行の五輪開催猛暑かな　皆野　根岸　詩子
雷や夜更の響き夢さらう　皆野　花垣好比古
我に舞ふ揚羽は父母か弟か　下日野沢　浅見　豊子
暑に負けし姉と並べて寝床を敷く　皆野　引間　千鶴
稜線を走る夏雲雨催い　三沢　新井　叶子
紫蘇梅を干すこと三日漂う香　下田野　新井　節子
息子来る銘菓あんみつ手みやげに　三沢　眞下　杏子

短　歌（投稿順）

荒川に響く「おいさっ」の掛け声と屋台囃子が親鼻川瀬　皆野　大澤　貴夫
なぁ裕一よほんとは生きているんだろ冗談よせよ電話待ってる　皆野　石原　達也
あどけなきせいいっぱいの声いとし月替わりなる児童の放送　三沢　眞下　杏子
美の山に花花花の散歩道種蒔く今日は汗も厭わず　皆野　萩原　初恵
多難なる道程超えて猛暑の日五輪に挑む選手の気迫　皆野　根岸　詩子
離れ住む親族よりも身近なる人の親切沁み沁み嬉し　三沢　新井　叶子
美の山の夕焼けまさに絵の如く自然の彩色佇み見入る　三沢　新井　民子
コロナ禍にめげず競技す選手等の輝くメダルに感動なせり　下日野沢　浅見　豊子
山際の朝の空気はひんやりと施設の人も歩いてました　国神　藤原マキ子
「すぐに来て」電話の主はひとまはり離るる姉よ独りで暮らす　皆野　引間　万亀
いつからかギリシャ文字つく変異株二十四種で足りるを願う　皆野　打木　昭廣
手ろくろの土と戯れ原始の心呼び覚まし猪神作る　皆野中　太幡琉美花
断捨離の母の着物に手を通し若き日の母鏡に偲ぶ　下田野　新井　節子
沿道も車内の子供手を振りて聖火を運ぶ五色の機関車　皆野　村田ハツ代

入選おめでとうございます

八月一五日（日）の東京新聞「平和の俳句特集」で、太幡琉美花さん（皆野中）の句が掲載されました。投稿された約四千八百句の中から、黒田杏子氏の選による十五句に選ばれました。入選句を紹介します。

理科学ぶ命を守るため学ぶ

1歳のお誕生日おめでとう

Happy Birthday

柚月ちゃん
下原区
小林　政之さん
真実さん

好奇心旺盛なゆづきちゃん！
すくすく元気に成長してね！

野乃夏ちゃん
上の台区
宮﨑　達弥さん
ゆき野さん

優しいお兄ちゃん達と元気に成長してね！

碧志くん
上の台区
関根　幸一さん
彩子さん

いつも笑顔で元気よく大きくなってね。将来は、NBA選手だ!!

※満1歳の赤ちゃんを募集します。10月号の締め切りは、9月10日(金)まで。ホームページからも応募できます。